

福井市の公民館のあゆみ（その6）

10. 福井市43地区公民館の時代（教育事業の充実と住民主体の地域づくりへの支援）

平成3年 社西公民館が新設される

平成10年 社会教育課が生涯学習課に改称される

社西公民館が新設されたことで、福井市の42小学校区全てに公民館が設置された。（宮ノ下公民館を含めて43館）

また、社会教育課が生涯学習課に改称され、公民館の各種事業の充実が図られるようになり、行政側から提示された色々な現代的課題について、各公民館でそのいくつかを、事業の主旨をふまえ取り組むようになった。

平成11年 市民学習活動促進事業開始

一律交付の予算でなく、活動費を別途交付する制度により、各地区公民館が市民の学習活動を促進し、力量を高めていくための先進的な教育事業を実施するようになった。

平成13年 公民館IT学習環境整備事業

公民館IT学習環境整備事業ということで国庫補助事業を受け、市はパソコンとそれに関わる周辺機器を購入し、それを43館に10～20台ずつ分置した。各公民館はパソコンに関する充実した講座（市民IT講習事業）を開講した。

＜男女共同参画事業＞

平成10年 生涯学習課と共催で男女共同参画推進事業を実施

平成11年 6月 「男女共同参画社会基本法」が公布・施行される

平成11年 公民館での実践マニュアルをもとに、男女共同参画推進員が中心となり事業を実施

平成14～17年 毎年公民館2ブロックずつをモデル地区として選出し、ブロック単位で、合同研修会を実施

平成15年 男女共同参画をめざす福井市基本条例施行

平成18年 男女共同参画推進員がそれぞれの地区で事業を実施

＜青年グループ活性化事業＞

平成13年 青年グループ活性化事業を42公民館で実施

平成17年 市内の青年グループが17になる

＜子育て支援委員会＞

平成15年 公民館をはじめ、小学校、PTA、自治会、子育てサークル等の団体で構成する子育て支援委員会を小学校区単位で順次設立

＜学校教育と社会教育の連携促進＞

平成14年 学校週5日制の実施

平成16～18年 「地域子ども教室推進事業」の実施

＜環境問題＞

公民館ではゴミ問題や環境問題についての教育事業を実施し、住民理解のために一翼を担う。

＜自主グループの活動＞＜自主的な学習活動の推進＞＜各種団体活動の支援＞＜広報誌の発行＞などの事業を実施

公民館は、自主グループで活動する人たちに指導と助言をするとともに、その成果や特技を地域の事業に発揮できる場を提供する。

また、地域住民の求めに応じて、情報の提供や相談事での話し合い、あるいは、活動への積極的支援などを行う。さらに、地域の各種団体に対し、地域住民による地域住民のための活動であることに注目して、支援・協力を提供する。広報誌を発行し、地域の歴史や名所、身近な課題等を掲載することにより、地域を身近に感じてもらい、より地域のことを知ってもらう。

平成17～18年 住民主体のまちづくり体制を構築することを目的に、「夢・創造事業」を各地区で実施

平成17年 岡保公民館が優良公民館として、文部科学大臣より表彰を受ける

岡保公民館は、学校と地域と公民館がうまく連携していることで、子どもたちと地域の人たちのつながりが深く、「子どもたちは地域で育てる」という土壌が育まれていて、世代間交流が積極的に進められている。